

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ガーラ

コード番号 4777 URL <http://www.gala.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO

(氏名) 菊川 暁

問合せ先責任者 (役職名) 国内子会社管理部門担当部長

(氏名) 藤田 公司

TEL 03-5778-0321

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	497	△18.6	△227	—	△197	—	△203	—
26年3月期第3四半期	610	△68.7	△283	—	△201	—	△249	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △246百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △369百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△14.91	—
26年3月期第3四半期	△22.99	—

※当社は、平成25年5月15日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	779	303	34.0	18.04
26年3月期	680	222	28.4	14.81

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 264百万円 26年3月期 193百万円

※当社は、平成25年5月15日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産金額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業が立ち上げ段階にあり、アプリの開発や提供が予定どおりに進まない可能性が高く、また、オンラインゲーム事業における、新規タイトルのサービス開始や既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であることから、業績予想の公表を差し控えています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	14,685,200 株	26年3月期	13,048,900 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	— 株	26年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	13,652,640 株	26年3月期3Q	11,173,300 株

※当社は、平成25年5月15日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、P. 3「1. 当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料については、決算発表後にホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績の概況は、連結売上高497,132千円（前年同四半期比18.6%減）となり、大幅な減収となりました。

これは、オンラインゲーム事業の売上高が減少し、スマートフォンアプリ事業の売上高が収入貢献に至っていない状況によるものであります。

また、従前より販売費及び一般管理費の削減を進めているものの、スマートフォンアプリ事業の開発費用の計上や当第3四半期連結累計期間にサービスを開始したゲームアプリ「Flyff All Stars（フリフオールスターズ）」英語版のプロモーションの費用計上により、営業損失227,575千円（前年同四半期半期営業損失283,708千円）、経常損失197,535千円（前年同四半期経常損失201,494千円）四半期純損失203,563千円（前年同四半期純損失249,049千円）となりました。

なお、前連結会計年度に米国子会社Gala Innovative Inc.の事業活動を休止したため、第1四半期連結累計期間から同社を「日本」セグメントに含めております。これにより、第1四半期連結会計期間から「米国」セグメントはありません。

なお、前年同四半期のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

① 日本

日本セグメントでは、主な売上高は国内子会社(株)ガーラウェブのその他事業（ホームページ制作・保守、コミュニティ関連サービス）となりました。ホームページ制作・保守につきましては、企業のコスト削減意識が継続しており、売上高は減収となりました。

スマートフォンアプリ事業では、(株)ガーラポケットにおいて、第2四半期連結会計期間に恋愛シミュレーションゲームアプリ「もしカノ もしも彼女が・・・」のサービスを開始し、パズルゲームアプリ「Supermagical（スーパーマジカル）」では、第2四半期連結会計期間にAndroid日本語版を、当第3四半期連結会計期間にAndroid英語版及び韓国語版を中国以外の全世界でサービスを開始いたしました。しかし、収益貢献に至りませんでした。

なお、(株)エディアが開発しサービス提供しておりますカードバトルゲームアプリ「乱世のケモノこれくしょん」を(株)ガーラポケットが海外展開サポートを行い、(株)エディアにより当第3四半期連結会計期間にAndroid英語版を130ヶ国（地域）でサービスを開始いたしました。

また、当社において、当連結会計年度から韓国連結子会社に対する、オンラインゲーム及びスマートフォンゲームアプリのキャラクター利用料を内部取引として収入計上しております。

これらの結果、日本セグメントにおける売上高は129,402千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で7,278千円（5.3%）の減収となり、セグメント損失が146,300千円（内部取引を含む。前年同四半期は262,167千円の損失）となりました。

② 韓国

韓国セグメントでは、Gala Lab Corp.のオンラインゲーム事業で主力ゲームの「Flyff Online（フリフオンライン）」及び「Rappelz（ラペルズ）」において、第2四半期連結会計期間にアップデートを実施したものの、当第3四半期連結累計期間では売上高が対前年同期比で減少いたしました。スマートフォンアプリ事業では、既存ゲームアプリ「Dungeons & Golf（ダンジョンズ&ゴルフ）」の売上高が期待値から大きく乖離した状態が継続しておりますが、第2四半期連結累計期間に新規パズルゲームアプリ「Flyff Puzmon（フリフパズモン）」英語版、当第3四半期累計期間に新規ゲームアプリ「Flyff All Stars（フリフオールスターズ）」英語版のサービス提供を開始いたしました。これに伴い、今後の収益獲得に向けて「Flyff All Stars（フリフオールスターズ）」英語版のプロモーションを実施いたしました。

また、当第3四半期連結累計期間にスマートフォンアプリ事業を行うGala Connect Inc.を新規設立し、事業開始に向けて準備を開始いたしました。

これらの結果、韓国セグメントの売上高は434,906千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で84,738千円（16.3%）の減収となり、セグメント損失が88,965千円（内部取引を含む。前年同四半期は7,499千円の損失）となりました。

なお、Gala Lab Corp.では、スマートフォンアプリ事業でオンラインゲーム「Flyff Online（フリフオンライン）」を題材とするスマートフォンゲームアプリ「Flyff Puzmon（フリフパズモン）」、「Flyff All Stars（フリフオールスターズ）」、「Flyff StompRun（フリフストンプラン）」の多言語展開に向けて開発を進めており、第2四半期連結会計期間より順次サービス提供を開始しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて80,814千円増加し、303,716千円となりました。

主な増減は、資産では現金及び預金が65,999千円増加し、売掛金が26,636千円増加し、長期貸付金が13,006千円増加いたしました。負債では短期借入金が36,522千円増加し、1年内返済予定長期借入金が11,520千円減少し、未払金が22,802千円減少し、前受金が14,095千円減少し、前受収益が16,904千円減少し、長期前受収益が41,025千円増加し、退職給付に係る負債が18,983千円増加いたしました。純資産では資本金及び資本準備金がそれぞれ158,531千円増加し、利益剰余金が203,563千円減少し、また、為替換算調整勘定が41,775千円減少し、少数株主持分が11,029千円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業が立ち上げ段階にあり、アプリの開発や提供が予定どおりに進まない可能性が高く、また、オンラインゲーム事業における、新規タイトルのサービス開始や既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であることから、業績予測の公表を差し控えさせていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失345,971千円及び当期純損失263,277千円を計上しております。また、当第3四半期連結累計期間においても売上高は497,132千円、前年同四半期比18.6%減少となり、営業損失227,575千円及び四半期純損失203,563千円を計上しており、現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況等を解消し、又は改善するための対応策として、① スマートフォンアプリ事業のグローバル展開に当社グループの経営資源を集中させるため、組織体制の見直し及びグループの再編の実施、② グループ全体で組織体制の見直し及び大幅な人員削減の実施、③ 資金繰りについて取り組んでおります。

当社グループの対応策の詳細は、「4. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(継続企業の前提に関する注記)」に記載しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	424,648	490,648
売掛金	71,530	98,166
前渡金	35,000	34,714
その他	38,210	31,004
貸倒引当金	△303	△2,421
流動資産合計	569,085	652,112
固定資産		
有形固定資産	2,940	5,888
無形固定資産		
ソフトウェア	149	278
その他	136	112
無形固定資産合計	286	391
投資その他の資産		
投資有価証券	3,407	3,397
長期貸付金	91,284	104,291
破産更生債権等	23,062	23,062
敷金及び保証金	10,922	8,100
その他	28	2,561
貸倒引当金	△20,303	△20,303
投資その他の資産合計	108,402	121,109
固定資産合計	111,629	127,388
資産合計	680,715	779,501
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,195	4,755
短期借入金	-	36,522
1年内返済予定の長期借入金	11,520	-
未払金	87,402	64,599
未払費用	54,563	55,795
前受金	45,384	31,288
前受収益	40,411	23,507
未払法人税等	1,482	1,117
賞与引当金	3,674	1,837
その他	4,497	4,182
流動負債合計	259,129	223,606
固定負債		
長期前受収益	71,906	112,932
繰延税金負債	55	51
退職給付に係る負債	69,120	88,104
長期預り保証金	57,600	51,089
固定負債合計	198,683	252,177
負債合計	457,813	475,784

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,401,373	2,559,905
資本剰余金	929,832	1,088,364
利益剰余金	△2,666,197	△2,869,761
株主資本合計	665,009	778,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100	93
為替換算調整勘定	△471,887	△513,663
その他の包括利益累計額合計	△471,787	△513,569
新株予約権	29,679	27,747
少数株主持分	-	11,029
純資産合計	222,902	303,716
負債純資産合計	680,715	779,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	610,682	497,132
売上原価	183,855	130,719
売上総利益	426,827	366,412
販売費及び一般管理費	710,535	593,988
営業損失(△)	△283,708	△227,575
営業外収益		
受取利息	2,978	6,570
為替差益	80,657	24,268
その他	2,756	619
営業外収益合計	86,392	31,458
営業外費用		
支払利息	3,680	1,343
その他	498	74
営業外費用合計	4,179	1,418
経常損失(△)	△201,494	△197,535
特別利益		
新株予約権戻入益	4,231	304
契約解除益	5,045	-
固定資産売却益	-	41
特別利益合計	9,276	345
特別損失		
減損損失	15,959	-
本社移転費用	2,164	-
特別損失合計	18,123	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△210,341	△197,189
法人税、住民税及び事業税	14,927	8,274
過年度法人税等	23,780	-
法人税等合計	38,707	8,274
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△249,049	△205,463
少数株主損失(△)	-	△1,900
四半期純損失(△)	△249,049	△203,563

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△249,049	△205,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	△6
為替換算調整勘定	△120,116	△40,966
その他の包括利益合計	△120,103	△40,972
四半期包括利益	△369,153	△246,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△369,153	△245,346
少数株主に係る四半期包括利益	-	△1,090

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社及び連結子会社(以下、「当社グループ」という。)は、前連結会計年度において営業損失345,971千円及び当期純損失263,277千円を計上しております。また、当第3四半期連結累計期間においても売上高が前年同四半期に比べ18.6%減の497,132千円となり、営業損失227,575千円及び四半期純損失203,563千円を計上しております。現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を早期に解消又は改善すべく、以下の対応策を実施してまいります。

まず、スマートフォンアプリ事業において平成25年4月にライセンス取得したアプリのグローバル展開において、Gala Lab Corp.で改良を進めてサービス提供いたしております。また、Gala Lab Corp.では自社開発のオンラインゲームを題材としたスマートフォンゲームアプリの開発及びサービス提供も進めております。(株)ガーラポケットでも新規アプリの開発、サービス提供及び新規ビジネスとして国内ゲームアプリの海外展開サポートを開始しており、外国人向けの日本アドネットワークの構築準備も進めております。今後もアプリタイトルの増加や新規ビジネスによる収益力の向上を図ってまいります。

また、グループ全体で大幅な人員及び経費の削減を実施し、スリム化を図っております。今後も必要に応じて経営の効率化を図るため、組織体制及び人員配置の見直しを実施してまいります。

資金繰りにつきましては、前連結会計年度に第三者割当増資及び新株予約権の発行により当面の事業資金を確保し、当第3四半期連結累計期間には新株予約権の行使による払込もありましたが、当面の厳しい事業環境を乗り越えるべく、取引金融機関に対して新規借入について引続き協議を進めるなど、資金調達も検討してまいります。

以上の施策を実施するとともに、今後も引続き有効と考えられる施策については、積極的に実施してまいります。

しかしながら、これらの改善策を実施してもなお、今後の売上高及び利益の回復は、組織体制の見直し、スマートフォン向けアプリの開発の進捗状況、市場投入の時期、市場での競争激化による環境の変化等に左右されることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、当社グループの四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当社は平成25年9月17日付で、菊川暁氏(当社代表取締役)から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が44,275千円、資本準備金が44,275千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が、2,215,902千円、資本剰余金が744,361千円となっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当社は平成26年7月18日、平成26年9月4日、平成26年9月8日、平成26年9月18日、平成26年10月1日及び平成26年12月9日にOakキャピタル(株)から新株予約権の行使による払込を受けました。この結果、当社グループ役職員のストック・オプション行使による払込も併せて、当第3四半期連結累計期間において資本金が158,531千円、資本準備金が158,531千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が、2,559,905千円、資本剰余金が1,088,364千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	韓国	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	105,469	505,212	610,682	—	610,682
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	31,210	14,432	45,643	△45,643	—
計	136,680	519,645	656,325	△45,643	610,682
セグメント損失(△)	△262,167	△7,499	△269,667	△14,041	△283,708

(注) 1. セグメント損失の調整額△14,041千円は、セグメント間取引消去△14,041千円であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において15,959千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	韓国	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	65,886	431,246	497,132	—	497,132
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	63,515	3,660	67,176	△67,176	—
計	129,402	434,906	564,308	△67,176	497,132
セグメント損失(△)	△146,300	△88,965	△235,265	7,689	△227,575

+(注) 1. セグメント損失の調整額7,689千円は、セグメント間取引消去7,689千円であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度に米国子会社Gala Innovative Inc.の事業活動を休止したため、第1四半期連結累計期間から同社を「日本」セグメントに含めております。これにより、第1四半期連結累計期間から「米国」セグメントはありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。